

1 情報教育機器の整備と運用

西条市では平成 24 年度より、教職員に 1 人 1 台の校務用コンピュータが整備された。そして同時に各教室や職員室、体育館まで校内 LAN が整備された。校務用コンピュータには校務用支援ソフト「ミライム」が導入され、校務の効率化を図っている。「ミライム」を用いて一日（1 週間、1 か月）のスケジュールの共有をしたり、校内外の教職員同士の連絡がスムーズに行われたりしている

また校内サーバーも設置され、校務用パソコンからデータを共有することも可能となった。

さらに将来を見据えて、未来都市プロジェクトにかかるモデル校として西条市立神戸小学校が選ばれ、ICT 機器やデジタル教科書等を充実させ、個に応じたきめ細かな指導を行い、その成果を検証し、市内の全小・中学校に展開できるよう研究に取り組む予定である。

2 研修について

(1) 夏季情報教育研修会

① 日時 平成 24 年 8 月 20 日（月） 9:00～12:00

② 場所 西条市立多賀小学校 パソコン教室

③ 参加人数 30 人

④ 研修内容 画像処理のためのソフトウェア研修

○ デイジーピクチャー プラス プライム（市川ソフトラボラトリー）

- ・ Web ページに適した画像とは
- ・ 写真の色、ホワイトバランスの調整の方法
- ・ コピー修正の方法
- ・ トリミング、解像度変更（一括）の方法
- ・ フィルタを用いた加工の方法
- ・ 写真の合成の方法 など



(2) 各校における研修

今年度より校務用コンピュータに「ミライム」を導入するにあたり、平成 23 年度には教頭、教務、情報教育主任を対象とした研修会が行われた。また平成 24 年度には各校において講師を招いての「ミライム」の研修を行った。

3 成果と課題

(1) 多くの教職員が出勤するとすぐに「ミライム」にアクセスするようになってきており浸透しつつある。掲示板機能やアンケート機能も備えており、校務の効率化につながっている。

(2) 校務用コンピュータを 1 人 1 台導入したことで、データを共有することの便利さなどに気づき、仕事の効率化につながっている。

(3) データを共有することで、一人ひとりの危機意識を高めていく必要がある。西条市の運用規定に則り、情報の流出を防ぐような手立てが必要である。

(4) 教職員には校務用コンピュータは配布されたが、普通教室や特別教室への設置はあまり進んでいない。児童生徒の ICT 能力の育成のために普通教室、特別教室へのコンピュータの設置を要望していきたい。